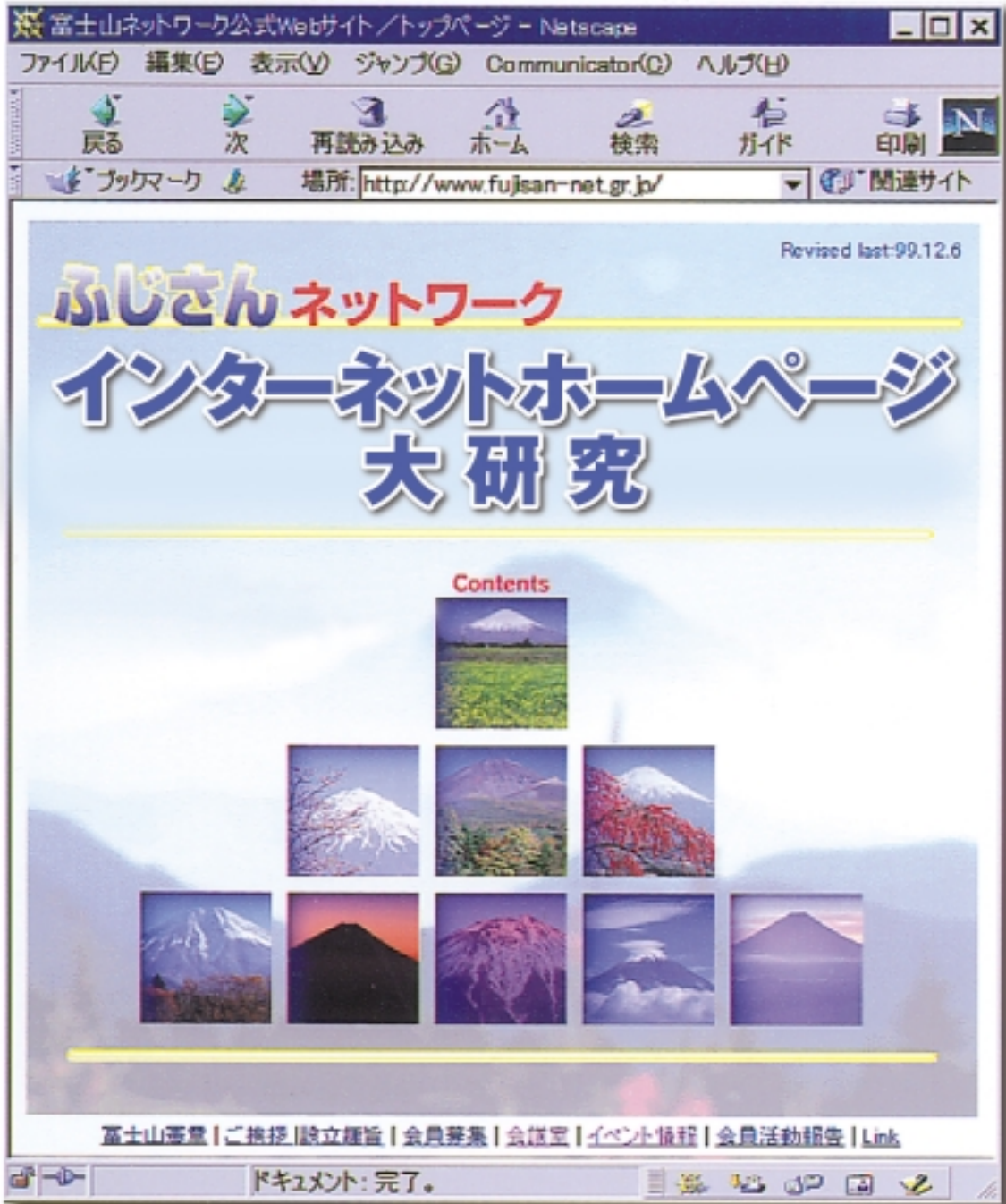


ふじさんネットワーク

URL/http://www.fujisan-net.gr.jp/

情報誌 2000. JANUARY Vol. 2



ふじさんネットワーク

特集 「ふじさんネットワーク」インターネットホームページ大研究

URL / http://www.fujisan-net.gr.jp/

「ふじさんネットワーク」の設立を受けスタートしたインターネットホームページも、すでに1000件を越すアクセスを記録。「富士山」への関心の高さを実感しています。といってもまだまだ新米のホームページです。

会員のみなさんにもっともっと自由に発言、活用してもらえよう、今回の特集は「ホームページ」の大研究としました。まずはホームページのメニュー紹介からはじめましょう。

「ふじさんネットワーク」ホームページコンテンツ

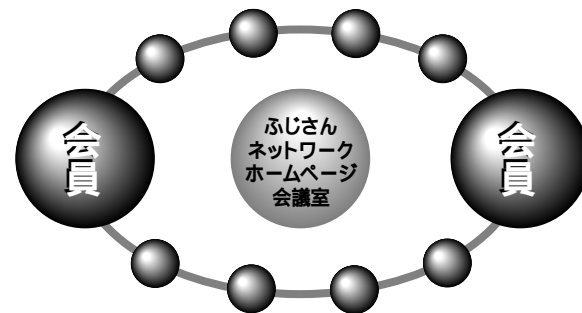
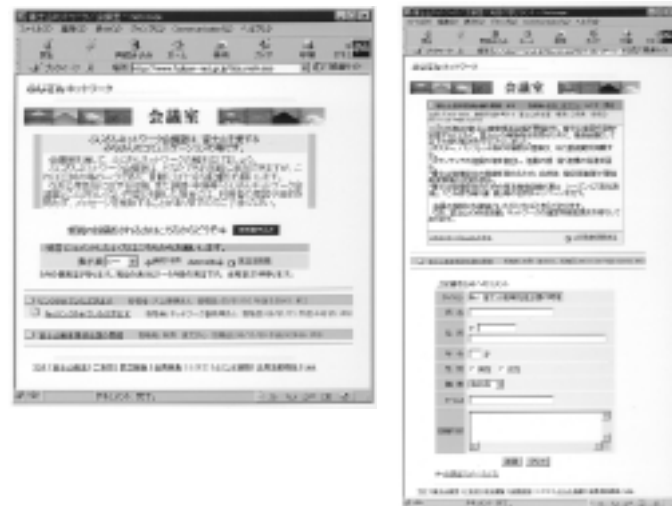
富士山憲章 平成10年11月、静岡・山梨両県が制定した「富士山憲章」を掲載	ご挨拶 石川嘉延静岡県知事による「ふじさんネットワーク」設立の挨拶を掲載	設立趣旨 「ふじさんネットワーク」の設立趣旨、目的を解説
会員募集 「ふじさんネットワーク」の入会方法を解説	会議室 会員同志のコミュニケーションの場、会員のメッセージを掲載	イベント情報 富士山に関するイベント情報紹介コーナー、会員からの情報を掲載
会員活動報告 会員団体、グループの自己紹介コーナー、会員の原稿を掲載	Link 「静岡県環境部富士山保全室」他、会員のみなさんのホームページを紹介	事務局からのお知らせ 事務局からのお知らせ、お願いを掲載

「会議室」こそネットの要。

会員同志が気軽にフリートーク。交流・情報交換を楽しもう!

数あるメニューの中でも一番の要、ネットの頭脳とも、心臓部ともいえるのが、会員同志のコミュニケーションの場「会議室」です。この「会議室」は、会員同志が交流、情報交換し、その活動の輪を広げるための、いわばキーステーションのようなもの。「会員相互の交流・連携を図り、その活動の輪を広げていこう」という「ふじさんネットワーク」の設立趣旨そのものなのです。

といっても何もそう堅苦しいものではありません。雑誌でいうフリートーク、言いたい放題のページと思ってください。誰かのメッセージを読んだ誰かがメッセージをプラスする、そして、また誰かのメッセージが続き、コミュニケーションの輪が広がる。そんな具合です。「こんな情報探しています」「今、こんなことを研究中です」「近頃こんなことを思うのですが...、みなさんはどう思いますか」「こんな出来事に遭遇し、びっくりしています」メッセージはなんでもOKです。また、富士山に関する素朴な疑問、質問などでもかまいません。メッセージを書くもよし、読むもよし。コミュニケーションを楽しみましょう。



会議室を通じて、各会員が自由に発言。会員同志が交流、情報交換をしてネットワークを最大利用する。

「企業の協力求む」から「教えてください」まで使い方は自由自在。ドンドン活用しよう!

たとえばこんなメッセージが入ったとしましょう。
 「富士山の現状を学ぶ勉強会を予定しています。植物の現状を語ってくれる講師を捜しています。ご存知の方、教えてください」と、これと呼んだ人が...
 「研究をしている さんはいかがですか？」
 会議室の最大の特徴はこんな便利な情報交換ができること。ではもう少し具体的に、いくつか例をあげてみましょう。

富士山の崩落をもっと大勢の人に知ってもらうためパンフレット制作を企画しました。広告掲載、または協賛というカタチで協力いただける企業を募集しています。

富士山の近くで営業している会社です。協力させてください。

先日湿原の自然観察会を実施しました。こんな植物を見かけたのですが、なんとという名前か、御存知の方、教えてください。

という植物だと思います。でも出会えたなんてラッキーですよ。とっても珍しい貴重なものですから。

こんな風に「会議室」の使い方は自由自在です。「会議室」には欲しい情報や協力を手に入れる便利なネットワークがあります。ドシドシ活用しましょう。

「イベント情報」で告知、PR。

「参加者募集」そんな時こそ大いに使おう!

「会議室」同様、積極的な活用をおすすめしたいのが「イベント情報」。富士山に関するイベント情報で構成されているコーナーです。会員のみなさんの団体、企業の主催するイベントが決定したら、その内容、日時、会場等を書き込んでください。開催日まで情報を掲示します。「富士山」の環境に関心を持った人たちがアクセスするコーナーです。PR効果はかなり期待できるはず。多くの人に参加して欲しい、そんなときこそ「イベント情報」を活用してください。

また「イベント情報」を見れば、どんな団体、企業がどんな活動をしているのか、そんな情報を集めることもできます。興味をもったイベントに参加するのも楽しいでしょう。「イベント情報」の使い方もいろいろです。自由に活用してください。



Q&A

- Q 「ふじさんネットワーク」のホームページはどんな趣旨のもと、行われているのですか?
- A 会員相互の連携、交流を目的に、情報のキーステーションとなるべく、設置しました。今後も、会員の活動をデータベース化し、ホームページ上で公開するなど、より活発な交流、連携のための情報提供を続けていきます。
- Q ホームページにはどんな情報が載っているのですか?
- A 現在のところ、「会員のみなさんからのメッセージやお知らせ」「会員団体の活動紹介」「富士山に関するイベントの情報」「事務局からのお知らせ」などが主な内容となっています。
- Q 「会議室」とは、なにをすところですか?
- A 会員のみなさんが自由にメッセージや意見を発言するコミュニケーションの広場です。発言方法はメッセージを書き込むだけ。もちろんそのメッセージは誰でも自由に見ることができ、あらたに感想メッセージを書き込むこともできます。
- Q どんなメッセージを入れてもいいのですか?
- A みなさんが自由にメッセージを書くことのできるコーナーは「会議室」と「イベント情報」にあります。まず「会議室」について、基本的にはどんなメッセージでもOKです。ただし公共の場ですので節度を持ってお願いします。「イベント情報」は富士山に関するイベントを掲示しているコーナーです。予定しているイベントの情報をお知らせください。雛形を用意しているのでそこに書き込んでいただくだけで大丈夫です。
- Q 発言は誰でもできるのですか?
- A はい。どなたでもどうぞ。
- Q 会の代表者でなくても発言できますか?
- A もちろんです。
- Q 発言は匿名やニックネームでいいいませんか?
- A かまいません。書き込みの際、氏名や住所、年齢、職業等書き込む欄がありますが、すべてを書き込む必要はありません。
- Q 会のホームページ、メールアドレスがありません。こういう団体は参加できないのですか?
- A 会のメンバーの中にインターネットをやっている方はいませんか? その方に担当になっていただき、参加なさってはいかがでしょう。またこの「情報誌」はホームページの情報とリンクしています。情報誌を活用ください。

富士山麓ぐるり湧水めぐり

富士山の自然を守る会
富士宮市上井出1834-2
TEL・FAX/0544-54-1822



例年、四季それぞれに公開フィールドワークを実施してきました。今年度は、今までに5回実施しました。その中の一つである「湧水めぐり」PART2を報告します。
富士山全体に1年間に降る雨は約20億tとも22億tともいわれています。このうち35%にあたる約7億7千tの水が地下水になると考えられています。地下水は湧水となって流れ出し、私たちの命と暮らしを支えています。しかし、湧水の減少や枯渇、さらには汚染という心配される事態も起こっています。富士山の自然の恵み、水という生命の源に感謝しながら、富士山麓をぐるっと一巡りし

ました。
「湧水めぐり」PART2(冬のフィールドワーク)
12月12日、富士宮地域の湧水や水道の水源地めぐりを実施。コースは富士宮市役所 - 西町湧水 - よしま池 - 淀師水門水道水源 - 大堰用水取水口 - 椿沢水道水源 - 朝日滝 - 北山用水(浄水)取水口 - 猪之頭大橋湧水 - 県営富士養鱒場 - 猪之頭保存湧水池(陣馬の滝など) - 北山浄水場 - 富士宮市役所。説明をしてくれた市職員を含め33人が参加。
富士宮市は豊かな水に恵まれていると言われています。白糸の滝、湧玉池、そして多くの湧水群を見れば、豊かな水の街と疑いません。しかし、かつては富士山麓という溶岩流と火山灰地さらには起伏のある台地という地理的条件で、水の豊かな地域と天水に頼らざるを得ない地域とに分かれていました。編み目のような用水の存在がその事実を語っています。
平成11年12月現在、給水人口は114,278人。普及率は93.1%。1人1日平均給水量419を供給。年間25億2千万円の事業費で経営されています。
富士山麓には2千数百の深井戸が掘られていると言われています。ある学者は常時地下水監視を行い全市域利用計画を早急に確立しなければならないと警告しています。

美しい富士山を子供たちに残すために

特定非営利活動法人 富士山クラブ
三島市一番町10-1 TEL・FAX/0559-83-4133
<http://www.fujisan.or.jp>



本クラブは、平成10年11月「富士山の環境保全と再生」を目標に掲げ設立し、平成11年11月特定非営利活動法人の認証を受け「特定非営利活動法人富士山クラブ」として設立されました。平成12年からは本格的に様々な事業を展開していきませんが、これまでの事業経過及びこれからの事業予定の主な内容としては次のとおりです。

ネットワーク事業

富士山の環境問題に取り組んでいるボランティア団体、個人への助成金の支援活動を平成12年2月より募集を開

始します。また、「全国おらが富士ネットワーク会議」の結成に向け資料収集等準備します。

基金運営事業

平成11年4月に「富士山水と緑の育水基金」を設立し、広く募金箱を配布し、協力をお願いします。

環境保全実践事業

平成11年8月、富士山五合目等、数カ所で清掃活動をしました。約400名の参加がありました。11月には、どんぐりや稚樹を探し、それらを持ち帰って育て、また富士山にもどそうという里親ツアーを実施しました。この企画は平成12年3月にも予定しています。また、森づくりインストラクターの養成講座を平成12年1月より実施します。

啓蒙事業

エコツアー・シンポジウム等で、富士山の取り巻く厳しい現状について理解していただくと共に、諸活動への参加の呼びかけをしています。

本クラブは「美しい富士山を子供たちに残していくために...」をスローガンに、このような活動を諸団体とネットワークを組んで推進していきたいと考えております。

日本一のかえでの里作りに着手

富士宮ライオンズクラブ
富士宮市朝日町12-18
TEL/0544-24-3174 FAX/0544-23-5801



富士宮ライオンズクラブは結成35周年を記念し、12月19日に富士宮市根原地先に「日本一のかえでの里作り」のための植栽作業を行いました。クラブメンバーとその家族、一般公募に賛同してくれた人など、神奈川県、静岡県、静岡県各地から参加してくれた150人あまりの人々によって2~3メートルのかえでの苗木500本が植えられました。
富士宮ライオンズクラブは1999年、「地球環境に関する宣言」を起草採択しており、本事業はその精神の一環として、地球に緑をとという運動の一つの表現として着手したものです。
また、新聞広告などを通して広く内外の人々に呼びかけたところ、結婚記念、誕生記念、還暦の祝などの記念植樹として、多くの方から「かえで」や富士山麓に自生する種類の木々が大量に寄付されました。
19日の植栽には、芝川町長をはじめ富士宮市青少年連絡協議会や富士山自然の森づくりの会等、各種の団体に参加いただき、子供たちといっしょに苗木を植えることができました。植栽を行った場所は、富士宮市、芝川町が所有する3万2050平方メートルの草原で、将来的には約3倍の面積に広がる予定です。今回の植栽では500本のか

えでの他に、樹齢20年を越える大木150本がプロの職人によって植えられ、将来の森の姿の一端が、雄大な富士山をバックに出現しました。クラブでは、この事業を数年の長期にわたる事業として継続し、名実ともに日本一の「かえでの里」とするよう努力していく所存です。
また、この事業は継続しています。植栽に関心のある方はクラブ事務所までお知らせください。皆様の御協力をお待ちしております。

身近な環境から、まちづくりに挑戦中

ふじ環境倶楽部
富士市増川119-1 TEL/0545-38-0088 FAX/0545-39-0057
E-mail / adism@lilac.ocn.ne.jp



10月24日(日)汗ばむような秋晴れの下、「'99田宿川ワークショップ」を開催しました。参加者は小学生110名を含む計172名。これまでで最大規模のワークショップとなりました。

午前中は、地元の方々に昔の田宿川の様子や、現在行っている川掃除やたらい流しのお話をうかがいながら、本國寺前の始点から、日産グラウンド北側の親水護岸までウォッチングを行いました。

昼休みに開催した、田宿川カヌー体験では、ちゃっかりと「僕、4回も乗ったよ」という子供もでるほどの大盛況。A-1スポーツプラザの皆さん、ご協力ありがとうございました。

午後は公民館でグループに分かれて点検地図を作りました。子供達からは「水が深くて遊ぶのが怖い」というように大人では気付かなかつたり、「僕は田宿川を守る人になりたい」と感謝、感激するような意見がたくさん出ました。

今回のワークショップをきっかけに、これからも地元今泉地区の皆さんや「湧き水」「地下水」とともに暮らす市民、企業、行政の方々といっしょになって、富士市の財産であるこの田宿川を守り、育み、生かしていくことができたらいいなと思います。

「ふじさんネットワーク」ホームページに掲載されている(2000年1月18日現在)情報を紹介します。パソコンはとも苦手という方も紙面を通して情報収集、コミュニケーションを楽しんでください。

会の代表の方へ

会のEメールアドレスをお持ちでなくても、どなたか会のなかでお持ちの方はいらっしゃいませんか?アドレスをお知らせください。事務局からのお知らせ等随時メールにてお送りします。

http://www.fujisan-net.gr.jp/

会 議 室

富士山憲章推進会議の開催

投稿者:料所 俊文さん 51才 男性

11月5日第2回富士山憲章推進会議が開催され、富士山憲章を周知・定着するとともに、富士山の環境保全を図るために、推進会議として以下の取り組みを行うことにしました。

ポスター、パンフレット等の印刷物に憲章または行動規範を掲載する。
ボランティアの活動の場を創出し、活動の誘発・連携の促進を図る。
富士山環境保全の意識を高めるため、自然体験学習事業や環境教育事業の充実を図る。
富士山環境保全のための普及啓発活動と夏山シーズンに「美化清掃」、「ごみ持ち帰り運動」等の合同キャンペーンを行う。

会員の皆様にも御協力いただければと考えております。
なお、富士山の保全活動、ネットワークの運営等ご意見をお待ちしております。

富士山自然誌リレーセミナー 「富士山の岩石を知る基礎講座」

日 時:2月13日(日)13:30~15:30
場 所:御殿場市市民会館 2階 視聴覚室
問い合わせ:御殿場市役所 環境保全課
TEL/0550-83-1610

雪とフィールドサイン

日 時:2月13日(日)9:00~12:00
場 所:富士山西白塚
問い合わせ:富士宮自然観察の会 仁藤
TEL・FAX/0544-24-9348

イベント情報

ニッセイ緑の探検隊10回記念セミナー ~ 稲本正さんの緑の地球大紀行 ~

日 時:2月22日(火)18:30~20:00
場 所:日本生命日比谷ビル7階
国際ホール
問い合わせ:ニッセイ緑の財団
TEL/03-3501-9203

講座「森づくり教室」

日 時:2月24日(木)9:00~20:30
場 所:富士宮市役所 7階 721会議室
問い合わせ:富士山自然の森づくり事務局
仁藤
TEL・FAX/0544-24-9348

富士山ふれあいの森林・ 冬の観察会

日 時:2月27日(日)10:00~15:00
場 所:富士山ふれあいの森林
(富士宮市栗倉・富士山二合目西白塚)
問い合わせ:静岡県富士農林事務所
森林整備課
TEL/0545-65-2202

早春の雑木林 冬芽・葉痕・樹姿

日 時:3月12日(日)9:00~12:00
場 所:富士市 岩本山公園
問い合わせ:富士宮自然観察の会 若林
TEL・FAX/0544-27-5700

御殿場名産水菜摘み

日 時:3月18日(土)・19日(日)
3/18 17:00集合
3/19 12:00まで
場 所:富士社会教育センター集合
団体名:富士山ナショナル・トラスト
問い合わせ:富士社会教育センター
TEL/0550-89-2530

どんぐり稚樹探しツアー

日 時:3月26日(日)9:00~
場 所:富士山西白塚周辺
問い合わせ:富士山クラブ静岡事務所
TEL/0559-83-4133

富士山自然観察と 野草に親しむ会

日 時:4月1日(土)・2日(日)
4/1 15:00集合
4/2 12:00まで
場 所:富士社会教育センター集合
団体名:富士山ナショナル・トラスト
問い合わせ:富士社会教育センター
TEL/0550-89-2530

植 林

日 時:4月16日(日)時間未定
場 所:富士山西白塚周辺
問い合わせ:富士山クラブ静岡事務所
TEL/0559-83-4133

第9回富士山「まなびの森」 植林ボランティア活動

日 時:4月23日(日)10:30~15:00
場 所:富士山「まなびの森」
(表富士2合目国有林内)
団体名:富士山「まなびの森」実行委員会
問い合わせ:住友林業株式会社 総務部内
TEL/03-3349-7521

第10回富士山「まなびの森」 植林ボランティア活動

日 時:4月25日(火)10:30~15:00
場 所:富士山「まなびの森」
(表富士2合目国有林内)
団体名:富士山「まなびの森」実行委員会
問い合わせ:住友林業株式会社 総務部内
TEL/03-3349-7521

春の植樹活動

日 時:4月28日(金)・29日(土)
4/28 10:00~
4/29 15:00まで
場 所:富士社会教育センター集合
団体名:富士山ナショナル・トラスト
問い合わせ:富士社会教育センター
TEL/0550-89-2530

第4回富士山3776 自然林復元大作戦

日 時:4月30日(日)10:30~15:00
場 所:富士宮市栗倉
問い合わせ:富士山クラブ静岡事務所
TEL/054-221-3618

「富士山」に関する、ここ数ヵ月間の新聞記事の中からピックアップしました。



1999.10.24 静岡新聞 朝刊

1999.12.14 毎日新聞 朝刊

富士高新聞部の女性記者2人

富士山頂の公衆トイレ事情追跡

「垂れ流し」の現状など取材 企画特集にまとめる

富士山頂の公衆トイレ事情を追跡する企画特集が、毎日新聞の女性記者2人によってまとめられた。取材は、富士山頂の公衆トイレの現状、トイレの設置状況、トイレの清掃状況、トイレの利用状況などについて行われた。記事は、富士山頂の公衆トイレの現状、トイレの設置状況、トイレの清掃状況、トイレの利用状況などについて行われた。記事は、富士山頂の公衆トイレの現状、トイレの設置状況、トイレの清掃状況、トイレの利用状況などについて行われた。



富士山頂の公衆トイレを特集した記事を持つ西川さん（左）と三井さん

- 第2回富士山憲章推進会議開催
1999.11.10 静岡新聞朝刊
- 「富士山ナショナル・トラスト」保坂副会長
「富士山南東麓の地下構造と地下水」県地学会で発表
1999.11.23 静岡新聞朝刊
- 富士山100年プロジェクト3776構想推進協議会20日発足
1999.12.4 静岡新聞朝刊
- 富士山再生キャンペーン展開
1999.12.16 毎日新聞朝刊
- 第1回富士山100年プロジェクト3776構想推進協議会開催
1999.12.21 静岡新聞朝刊
- 裾野・山梨の写真クラブ、富士山写真集を合同出版
2000.1.5 静岡新聞朝刊

富士山保全の輪を広げて

富士でネットワーク設立

静岡、山梨両県が昨年十一月に制定した「富士山憲章」の周知、定着を図るため、富士山の環境保全運動の全国的な広がりを目指すとして「ふじさんネットワーク」の設立総会と第一回総会が二十三日、富士市桑崎の富士山こどもの国で開かれた。会長に土隆一静岡大名誉教授を選び、シンボルマークを制定した。富士山



シンボルマーク

ふじさんネットワーク 設立総会・第一回総会



富士山憲章の推進を呼び掛ける「ふじさんネットワーク」の土会長
＝富士市桑崎の富士山こどもの国

リンセ、シンボルマークは浜松市内の会社員木村幸男さん（大電市在住）のデザインが採用された。木村さんは「富士山100年プロジェクト3776構想」をコンセプトとして、富士山周辺の環境保全に取り組みたいという思いから、活動の輪を広げてくれた」とあいさつした。富士山周辺の環境保全に取り組みたいという思いから、活動の輪を広げてくれた」とあいさつした。

事務局通信

アンケートにご協力いただき
ありがとうございました。

以下その結果を報告します。

会員名簿作成について

会員名簿における会員のみなさんの情報公開については、それぞれの意思を尊重し、作成することといたします。名簿は後日郵送いたします。

会議室のテーマについて

今後意見交換を行ってみたいテーマとして次のような声がありました。

環境にやさしい商品開発について 環境をテーマとした研修会やセミナーの紹介 森林資源の保護 ゴミの問題 富士山憲章のための具体的取り組み 森づくりへの提言と取り組み 自然保全と開発 里山・雑木林保全の人材育成について

「ふじさんネットワーク」について

ネットワークへの要望として次のような声がありました。

「環境への取り組みは一企業の範囲ですと限界もあり、行政、民間、生活者、学識経験者を含めての、あるべき“環境対策・取組”をテーマとして意見交換、情報交換の場が大切と考えます」

「方針・方策による具体的取り組みへの進化を望みます」

みなさんの貴重なご意見は情報誌やインターネットホームページにも反映させていきたいと思えます。

「MEMBERS」原稿のお願い

会員のみなさんの自己紹介ページ「MEMBERS」の原稿をお送りいただけない会員のみなさん、お送りいただけますようお願いいたします。

富士山の写真募集中!

インターネットホームページに「富士山ギャラリー」の開設を予定しています。みなさんがお持ちのとおきの「富士山写真」をお貸しください。

会員募集

「ふじさんネットワーク」は随時会員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

「ふじさんネットワーク」事務局

〒420-8601
静岡市追手町9番6号
静岡県環境部富士山保全室内
TEL/054-221-3618
FAX/054-255-6495
URL/http://www.fujisan-net.gr.jp/



「田貫湖湖畔」



「大沢崩」

撮影 / 原崎藤雄さん
(ふじさんネットワーク会員)